

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1																	<様式10-1>
2			令和6（2024）年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書														清水児童館
3			参 加 人 数														
4			活動名	実施回数	乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア			合計	内 容	成 果 と 課 題
5						自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人			
6			(1) 日常の自由遊び活動														
7			(2) 遊びの教室活動														
8	子 ど も 育 成 活 動	基 本 活 動	遊びの教室 七夕飾りを作って飾ろう	3			15		6						21	七夕笹飾り工作や短冊に願い事を書いて飾る	・季節行事に向けての飾りやグッツ作りを、見本や作り方の提示と、豊富な素材を準備してコーナー展開をすることで、自分なりに工夫した個性豊かな飾りづくりが出来た。 七夕飾りについては、参加者は少なかったが、七夕お楽しみ会に向けて良い環境作りにもなった。下校時間が遅い子も参加しやすいように、一定のパーツを準備したことで、余裕をもって作ることができた。 ・友達が作っているのを自分でもやってみようとする姿や、作った後にコツを教える姿も見られた。
9			(3) 行事活動														
10			七夕お楽しみ会子ども実行委員会	5			12		16						28	七夕お楽しみ会に向け、子ども実行委員を募集し、7人がメンバーとなる。企画内容について話し合ったり、役割分担や準備、司会の練習などをする。	・ポスター作り等子どもが意欲的に取組み、役割分担では、自分のやってみたい希望を出し合って決めた。全員が揃わない日もあったが、打ち合わせをして台詞分けをしたり練習する自主的な姿や、司会進行の部分で今までの経験も活かし、臨機応変な動きや対応が見られた。 ・実行委員会参加への本人の意欲を保護者にも伝え、子どもの意欲や達成感を保証していけるように対応できた。
11			七夕おたのしみ会	1		2	25		11						38	七夕お楽しみ会に子ども実行委員会の企画・進行で伝承的な季節感ある七夕の季節のお楽しみ会を実施。 「七夕星見つけミッションクイズ」「ミステリーボックスクイズ」	・実行委員会の子どもの準備し、司会やゲームのルールの説明をする。「星見つけ」や「箱の中に何が入っている?」というシンプルな題材で、低学年もイメージしやすく大盛況だった。来ている全員にルールの説明をしたが、参加希望者だけに説明すれば参加しない子は自分の遊びを中断せずに済んだ。
12			マンカラ大会	1			8		4						12	マンカラ週間で練習してきた成果を生かし、ルールを守って大会に挑む。	・総当たり戦で勝利数の多い子から順位を決定し、勝利数が同じ子の中で2位、3位決定戦をして順位を決める。全員が常に誰かと対戦するので空き時間もなく集中して良い対戦ができ、接戦の対戦も見られた。一年の子の中には、途中、自分も勝ち数が少なくて落ち込んでいたが、それ以後調子を取り戻した。しかし、総合的な順位で悔やむこととなり、他の子どもたちが「1年生ひとりだけで、ここまで続けて頑張れたんだから」と励ます場面が見られた。 ・参加人数の少なさはあるが、職員の見守り体制を考えると丁度良い人数であった。
13			わんぱく探検隊 「二条城公園に行こう!」※中止	0													・今年度初めての館外活動の「二条公園に行こう」は前日に地震があったため中止。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q		
14			わんぱく探検隊 「ボウリングに行こ う！」	1												・公共交通交通機関や歩きで館外に出かけて 様々な体験を通して交流する。公共マナーを守 り、「二条公園に行こう※中止」「ボウリン グ」「お抹茶体験」をする。	・「ボウリングに行こう」参加者が多いことも予想される ため、職員の体制的にも児童館事業と学童クラブの合同開 催として行なうこととする。 ・移動時点呼の学年ごとの整列やレーングループでの集合 など、場面場面で指示をすることがあり複雑であったが、 はぐれることなく過ごすことができた。職員の体制や配置 を考慮したことにより個別対応の必要な児童も含め、大き なトラブルなく実施することができたバスの中で交流した り、互いのプレイに声援を送ったり拍手をするなどの姿が 見られる良い機会となった。		
15			わんぱく探検隊 「お寺でお抹茶を体験 しよう！」	1			3	4	1	5								13	・「お寺でお抹茶体験をしよう！」では、秋晴れの天気の 良い日に歩き遠足に出かけ、参加者同士の良い交流のひと ときとなった。日頃体験できない文化的な貴重な体験がで きた。今後もこういう文化的な取組と館外へ出向く活動の 組み合わせ活動は継続していければと思う。
16	子 ど も 育 成 活 動	基 本 活 動	Let`s子ども百鬼夜行子 ども実行委員会	5			8		4							12	実行委員を募集し、当日に向けての相役割分担 や準備、司会の練習などをする。	百鬼夜行に向けて、楽しみながら当日に役割分担し て準備を行い、ルール説明などを行う	
17			Let`s子ども百鬼夜行	1		8	11	2	5		9					35	百鬼夜行に因んだ室内ゲームや取り組みを展開 後、館外の開晴小六原グラウンドにパレードしグ ラウンドで遊ぶ。企画や進行は、子ども実行委員 会のメンバーが担う。	・子ども実行委員会の子が、パレードした後のグラウンド での遊びや、館に戻ってからの室内遊びの企画や進行を担 う。交通安全や外遊びの様子を見守ってくださる保護者も いた。また、地域の親子と一緒にパレード気分で行くなど の場面もあった。	
18			冬休みおたのしみ会子 ども実行委員会	5			5		10							15	・冬休みお楽しみ会に向けての子ども実行委員 を募集し、子ども実行委員会がお楽しみ会で行 う遊びの内容を企画し準備する。 ・役割分担をして当日の進行をする。	・実行委員会が事前に打ち合わせをし、準備を楽しみながら 行い、主体的に動くことができた。 ・子ども達の、自主性に任せられる部分も沢山あった。	
19			冬休みお楽しみ会「ク イズ大会」	1			11		6							17	子ども実行委員会のメンバーが企画し準備をし て進行するお楽しみ会	子ども実行委員会が主体的に動き、参加者も積極的に参加 し、設定が苦手な子がいたが話を聞く場面では静かに落ち 着いて聞いていた。トラブルなく穏やかに遊んでいた。	
20			冬休みお楽しみ会「雪 だるまを見つけろゲー ム」	1		1	10	1	4							16			
21			冬休みお楽しみ会「雪 だるま爆弾ゲーム」	1		1	9		3							13			
22			節分おたのしみ会子ど も実行委員会	6				5		9							14	・実行委員を募集し、当日のお楽しみ会でどん な遊びにするかの話し合いをして決めたり、役 割分担や利用する道具類の作成をして準備をす る。 ・参加者募集のポスター作りなどを作成や司会 の練習などをする。	・メンバーの都合や体調不良などで、1人での取組となっ たが、当日メンバー外の子が自ら手伝ってくれる。 ・楽しみながら準備をし、主体的に動くことができた。ま た、自主性に任せられる部分も沢山あった。 ・当日、実行委員会メンバーが揃わず困っていたが、メン バー自身が他の協力者を見つけ、メンバー外の子が協力し て手伝うなどの行動が見られた。
23			節分おたのしみ会	1			1	5		3							9	・子ども実行委員会の企画・進行のもと、伝 承的な節分についての由来等を知ったり節分に因 んだ遊びを体験する。 ・実行委員会が企画した「鬼倒しボウリング」 に、希望者が参加し体験する。	・実行委員のメンバーがポスターを作成して貼りだした り、声をかけて案内し、参加希望者を受け付けて実施。 ・「鬼倒しボーリング」のコーナーを、当日は3人の実行委 員メンバーで進行する予定だったが、当日メンバーが揃わ ず苦悩していたら、メンバー外の子が手伝ってくれ進行 できた。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
50	子 ど も の 育 成 活 動	推 進 活 動	(11) 子どもが地域を知る活動														
51			防災訓練	12		1	169	1	51						222	・DVD教材を使用し、子ども達にとって分かりやすく防災学習が出来た。 ・学習で学んだことを活かし、実際に避難訓練を実施できた。避難時、集中力が欠けてしまう子がいた。再度、訓練は遊びではないことを伝えた。 ・東山消防署の方に年度末に子ども達に避難する時のポイントを話してもらい総括をする。子ども達は熱心に聞いていた。また、職員の動き方や、実際に火事が起きた時の職員の役割分担などのアドバイスを頂いた。今後も、連携をとりながら子ども達やその過程に向けての防災意識を高めていけるよう努めていきたい。	
52			交通安全教室&ワークショップ	1			20		6		4					東山警察署の方による、交通安全教室&ワークショップ	・夏休みに東山警察署の交通安全課に来て頂く。 ・今年度は自転車の安全な乗り方と夜間に目立つ色について講話とうちわ作りを実施。熱心に取組む子どもの姿が見られた。
53			防犯教室	1			27		3	1	1				32	東山警察署のスクールサポーターのに来ていただき、不審者に遭遇するなど、いざという時に備えてクイズ形式による学習ができた。子ども達が興味を持って意欲的に学習ができるような工夫された教材を持参していただけて良かった。	
54			Let`s子ども百鬼夜行	1		5	12	2	7						26	・ハロウィーンの時期に、東山ならではの百鬼夜行に因んだ室内ゲームや取り組みを展開。地域に出て開晴小六原グラウンドにパレードに出かけグラウンドで遊ぶ。企画や進行は、子ども実行委員会のメンバーが担う。	子ども実行委員会のメンバーが企画や進行を担い、百鬼夜行に因んで妖怪などの衣装を身に着けて地域をパレードをして開晴小中学校六原学舎の運動場まで行く。参加者の保護者等が、交通安全や遊びの見守りをしてくださった。また、地域の親子が衣装を身にまとして少しの距離を同行される姿も見られた。子ども達は、普段通学している小学校区だが、パレードを通してまた違う地域の様子を知ることができた。
55			東山老人福祉センター「映画会に参加しよう！」	1			11		6						17	・老人福祉センターと共催での多世代交流会は日程調整がつかず、共催で視聴覚センターの教材リストから老センと連携して選定し、多世代で映画鑑賞を実施。 ・老センの会場に挨拶をして入り、お年寄りの方から子ども達に優しく声掛けをしていただいたり、席を準備してくださるなどの場面もあった。特に、プログラムの中でレクリエーション的な物があるわけではなかったが、多世代が同じ空間で同じ映画作品を鑑賞し、こどもたちは、日頃と違う雰囲気の中であったが、落ち着いて鑑賞することができた。 ・次年度は、映画鑑賞ではなく余裕をもって日程調整ができるように連携して多世代交流会（文化祭）でのステージ発表に参加できるよう準備していきたい。	
56			六原フェスタ（六原学区の文化祭）													六原自治連合会主催。ステージ催しと作品展示	児童館からはゲームコーナーと高学年クラブや児童館の子ども達の作品展示で参加。児童館として実行委員会に参加して準備し、地域の方に児童館をPRする良い機会となった。地域の方がたとの繋がりがコロナ禍で薄くなってきていたが、繋がる良い機会であった。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
57			東山ふれあいリレーマラソン※中止													はぐみネットワーク実行委員会による取り組み	会場が東山泉小中学校のグラウンドであるため、開晴館小中学校からの参加は少なかったが、地域の各種団体や乳幼児親子の参加もあり、地域がー丸となって健全育成を目的に繋がっている。集合するも、悪天候のため早々に中止となった。
58	子どもの育成活動	推進活動	(12) 移動児童館	22												児童館機能を地域に出て展開する	・乳幼児事業「おでかけぽっぽ」として、近隣の保育園の園庭開放に参加する。 ・「左京東山児童館学童保育所まつり」での一日児童館、では、当館の学童クラブ児童の引率参加をして様々なコーナーでの遊び体験を通して、他館の先生や子どもたちとの交流場面も見られた。会場が遠いためか乳幼児親子の参加はみられなかった。
59			(13) 大学生と勉強をしよう！	24			1	473			116			21	611	・地域の子ども達の安心・安全な居場所である児童館という施設の特性を活かし、大学生の協力を得て「学習習慣の確立」など、子ども達の生活支援を原点とする活動にしていこうことを目指した取組。	・2人の大学生の学習支援ボランティアとして登録し、子ども達の宿題をみてくれた。その後、一緒に遊び、いろいろな話を聞いてもらい、信頼関係が気付けた。関係が作れ子ども達との信頼関係も持たれ、個別対応の必要な子たちへの関わりも上手く対応してもらっていた。
60			合 計	61	0	7	712	3	189	1	5	0	21	0	908		
61			子ども育成機能 合 計	269	1	39	1154	17	426	135	21	0	22	0	1774		
62																	
63																	
64	*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。																
65	推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。																
	指定活動は、指定児童館のみベツト報告すること。																

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	T	U
1																		<様式10-2>
2	令和5（2023）年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 （京都市清水）児 童 館																	
3					参 加 人 数													
活動名			実施回数	乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア			合計	内 容	成 果 と 課 題		
					自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人					
4																		
5																		
6	子ども 家庭 支援 活動	基本 活動	(1) 乳幼児とその保護者を対象とする活動															
7			①乳幼児クラブ活動															
8			②乳幼児の広場活動															
9			わいわい広場	126	193						119				312	児童館の開館時間内に親子が自由に過ごす	・参加の親子は1～2組で、参加のない日もあった。 ・総合庁舎内にある保健センターや図書館、区役所に来たついで等、合築ならではの利用の仕方があった。 ・実家に帰って来られた際や、実家の近くに引っ越しをしてきて保護者が懐かしみながら利用されたり、母親のお産のために祖母がかわりに連れて来られたり、観光客が家族で利用されることもあり、多世代の利用があった。 ・時間帯により、小学生と乳幼児の交流など、児童館らしい場面も見られた。 ・今後も気軽に利用できわいわいといえる居場所作りに努めていきたい。	
10																		
11			(2) 家族参加を促す活動															
12			乳幼児さんよっといデー「こいのぼりを作ろう！」 4月25日	1	6						7				13	・『乳幼児さんよっといデー』の取組の中で、警察署や子どもはぐくみ室、どんぐり広場（つどいの広場）との連携して講座や季節行事、コンサートなど、多世代の交流ができる機会を通して、家族参加を促す。	・子育て講座を行なったり、多世代交流ができる季節の行事や様々な遊びを取り入れ家庭参加を促がした。 ・申込制にすることで参加し辛くなるが、子育て講座など内容によっては申込制とした方が良かった。 ・昨年度より参加者が全体的に多く「消防自動車見学」の日や「ちびっこハロウィン」の日は特に人気だった。	
13			乳幼児さんよっといデー「感触遊び」5月30日	1	4						5				9			
14			乳幼児さんよっといデー「プチプチシート感触遊び」6月13日	1	7						11				18			
15			乳幼児さんよっといデー「ちびっこ録日」7月18日	1	4						5				9			
16			乳幼児さんよっといデー「歯の話」9月11日	1	7						9				16			
17			乳幼児さんよっといデー「ちびっこうんどうかい」9月26日	1	6						7				13			
18			乳幼児さんよっといデー「ちびっこハロウィン」10月24日	1	13						13				26			
19			乳幼児さんよっといデー「親子防災講座&消防車見学」11月28日	1	9						13				22			
20			乳幼児さんよっといデー「ちびっこクリスマス」12月19日	1	12						13				25			
21			乳幼児さんよっといデー「ちびっこ節分」1月30日	1	6						6				12			
22			乳幼児さんよっといデー「ちびっこひなまつり」2月20日	1	6						6				12			
23			乳幼児さんよっといデー「手形・足形キーホルダー作り」3月12日	1	6						7				13			

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	T	U	
24	子 ど も 家 庭 支 援 活 動	基 本 活 動	0歳児教室	7	16						18					34	0歳の乳児親子の教室 前期後期実施 ＜前期＞ ①5月8日 手作りおもちゃ作り 2組 ②6月12日 東山図書館の方による子育て講座「赤ちゃんと絵本」 3組 ③6月19日 東山子どもはぐくみ室保健師の方による「赤ちゃんの心の成長」 4組 ④7月3日 パパママ企画で楽しもう！（短冊に願いを書こう） 3組 ＜後期＞ ①10月9日 手作りおもちゃで遊ぼう 3組 ②11月13日 東山図書館の方による子育て講座「赤ちゃんと絵本」 0組 ③11月20日 東山子どもはぐくみ室栄養管理士による子育て講座「離乳食	・母親だけでなく父親や祖父母等、層を広げて募集。 ・参加者がシリーズの中で継続して参加するケースがなく、講座開催前のアンケート調査が当日になったが、聞きたいことを可能な限り講師に対応してもらえるようにし、参加の親の満足に繋がった。 ・連携事業での「0歳児教室」のPRや登録受付をしたことで、参加申込みに関わり効果的であったが、当日の天候や都合で欠席となることも多かった。 ・前期にシリーズ登録制で実施したが参加者の敷居が高くなるとの意見が利用者からあったため、後期からシリーズ化と登録制を取りやめて実施。各回選んでいけるのが良いとの声があった。 ・今後も、充実した活動を提供を目指し、関係機関と連携して実施していきたい。	
25			おでかけぼっぼ（善立寺保育園）	12														・参加申込者が少なかったが、気分転換に砂場遊びを体験させたい、異年齢の交流も楽しませたい、どんな園か見たい等の参加者にとっては、貴重な活動であり喜ばれている。	
26			おでかけぼっぼ（しんかくじこども園）	11	1								1				2	・基本、雨天は中止ということで、月齢や上の子と一緒に0歳児の月齢の低い子を同行して来られた場合など、保育園側も臨機応変に室内で対応してくださり参加者も喜んでおられる。	
27			とび出せ!!どんぐり広場（つどいの広場との連携）	24	114								92				206	・区社協内の部屋を借りて開催されている「とび出せ!!どんぐり広場（つどいの広場）」（毎月2回）乳幼児親子のふれあい遊びやお話会、手作り工作や、コンサートや講座等	・親子が少ない地域で単独開催では難しいことから、児童館との連携をして相互に広報をする。 ・地域の子育てサークル「ひなたぼっこ」と連携して開催される日には、サークルメンバーが参加され、児童館からの活動のPRをする良い機会となった。 ・間接的に地域の子育てサークルを支援していくこともできるので、児童館としても繋がりが持てることも、ありがたい。今の参加メンバーが保育園に入園されるなどもあり、サークルの次期メンバー確保やリーダー後継者などの課題もあるが、次年度も同様の方法で展開されるので、間接的に支援していく。
28			あかちゃんお楽しみ会（図書館との連携）	12	41							7	41				89	・図書館が開催する乳幼児親子向けのふれあい遊びや絵本の読み聞かせ	・乳幼児親子向けのふれあい遊びや絵本の読み聞かせをされる図書館行事に家族で参加できるように周知し、その場におられる保護者に児童館での取組をPRできる場となっており、図書館に来たついでに児童館へも足を運ばれる機会に繋がっている、開今後変わらず相互に連携し、利用者が家族で参加していける機会としていきたい。
29			合 計	すくすくひろば	1	41							87				128	・東山区地域子育て交流事業「すくすくひろば」実行委員会（東山区内の児童館・つどいの広場、東山区社会福祉協議会、東山区役所子どもはぐくみ室が実行委員となり、東山区内の保育園（所）・認定こども園・幼稚園・東山区民生児童委員会、東山区町中図書館プロジェクト、京都洛東ロータリークラブなどの協力を得て遊びのコーナーやステージ、工作等の東山区内広域の広場を展開	・東山区内の関係機関が連携し、乳幼児向けのいろいろな遊びのコーナーやステージを、協力し合って実施。「すくすくひろば」の参加者同士、参加者とスタッフ、スタッフ同士が、広場を通して交流できた。
30																			
31																			

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	T	U				
32	子ども家庭支援	基本活動	(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路			件数		相 談 内 容			つないだ機関等			件数					
33				乳児	1	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所			8		健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 不登校児童の居場所相談			小学校、子どもはぐくみ室 小学校、子どもはぐくみ室 ※連盟の巡回指導やケース 検討会議にもあげている ケース有。			2					
34				幼児													4					
35				小1～3年（自由来館）	6	子ども支援センター 主任児童委員											1					
36				小1～3年（学童）													1					
37				小4～6年（自由来館）	1	その他 											1					
38				小4～6年（学童）																		
39				中学生																		
40				高校生																		
41				件数 計	8	—			8		—			—			8					
42				グループ名		構成人数	活 動 内 容				育成・支援内容				成果と課題							
43			(4)子育てグループを育成・支援する活動												つどいの広場（どんぐり広場）との連携事業「とび出せ!! どんぐり広場」の中で、地域の子育てサークル「ひなた ぼっこ」と連携して開催される日には、サークルメンバー が参加されるので、共催する中で子育てサークルを支援し ていくことができた。参加メンバーが保育園に入園される などもあり、サークルの次期メンバー確保やリーダー後継 者などの課題も発生しているが、次年度も同様の方法で展 開されるので、継続して間接的に支援していく。サークル の取組会場として、児童館も利用可能である旨は伝えてい く。							
44																						
45		推進活動	(5)子育てと健全育 成に関する啓発活動	活動名		実施回数	活 動 内 容								成 果 と 課 題							
46				「京都市家庭ごみ有料 指定袋無料引換券」の 引換		1	京都市は、出産家庭に対して「こんにちは赤ちゃん事業」による保健師の家庭訪問時に 「出産お祝いレター」「子育て応援パンフレット」等とともに、「京都市家庭ごみ有料指定 袋無料引換券」を配布されている。この引換を児童館ですることによって、引き換えの際 に児童館を知ってもらえる機会としている。								東山区総合庁舎の一角にあり他施設と合築の為、保健セン ターで引き換えられることが多いようで、児童館まで足を 運ばれることは少ないが、今年度は4件引き換えがあっ た。そ引換に来られる方は既に児童館を知っておられるこ とが多く、引き換えを通して児童館の存在をアピールする ということまでには至っていない。							
47																						
48																						
49																						
50																						
51																						
52																						
53																						
54																						
55																						
56																						
57																						
58																						
59																						
60			※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動]（2）家族参加を促す活動に分類して記入すること。																			

令和6年（2024）年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

<様式10-3>
(京都市清水) 児 童 館

地域福祉促進基本活動	(1) 地域住民との交流を促進する活動	活動名	実施回数	主 催	参 加 人 数							連携団体	成果と課題	
					乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人			合 計
						自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
		防火防災コンサート		東山消防署								清水児童館	・コロナ禍から途絶えており、働きかけないままでポスター掲示や開催のお知らせやPRの協力ができなかった。次年度は広報の協力など可能なことをする。	
		六原フェスタ運営委員会		六原自治連合会ロクフェス2024実行委員会								東山警察署、東山消防署、開晴小中学校、清水児童館、六原学区内各種団体	・当日に向けての打ち合わせや、反省会に参加し当日のフェスタについての共有をし、今後も地域と関係を築きながら繋がっていきけるようアピールする機会となった。	
		六原フェスタ	1	六原自治連合会ロクフェス2024実行委員会								東山警察署、東山消防署、開晴小中学校、清水児童館、六原学区内各種団体	・ステージ催しと模擬店やゲーム、作品展示の地域の文化祭。児童館からは職員のゲームコーナーと高学年クラブや児童館の子ども達の作品展示で参加。児童館として地域住民の方とふれあいながら準備し地域の方に児童館をPRする良い機会となった。	
		ひがしやま子どもあきまつり	1	京都市東山区社会福祉協議会、幼児東山区まちじゅう図書館、プロジェクト子育てコミュニティベース「ひなたぼっこ」、ひがしやママ								乳幼児～小学生までの親子向けの子どもあきまつり。やすらぎ・ふれあい館を会場に、東山区内の関係団体や機関が協力して体験コーナーや遊びのコーナーを展開。	・児童館からは職員が遊びのコーナーの交代要員として参加。事前説明当日は、児童館や学童に來ている子どもたちや保護者の顔ぶれも見られた。 ・地域の子育て世代の保護者や子育て支援に関わる団体と共に、事前の打ち合わせ会議の際には、関係団体との顔合わせ交流として、グループワーク研修などの取り組みもあり、地域の子育ての団体と地域の現状を共有し交流するひとときにもなった。 ・他の季節のまつりも実施されており、今後は可能な限り連携して参画していきたい。	
		子ども交通安全教室&ワークショップ	1	清水児童館			20	6			4	30	東山警察署	東山警察署の交通安全課の方に來ていただき、自転車の安全な乗り方や夜道での安全な服の色などを教えていただく。講義も参加型でわかりやすく子ども達も楽しんで学んでいた。
		防犯教室	1	清水児童館			27	7	3	1	1	39	東山警察署、スクールサポーター	生活安全課の協力を得、スクールサポーターさんから、子ども達に不審者と遭遇した時にはどうすべきかの学習をする機会が持てた。クイズ形式の手作りの教材を準備してくださり、楽しく学ぶことができた。
		清水交通安全ふれあい広場		清水交対協								0	清水児童館	コロナ禍でのブランクもあり、自治会が実施されなかった。
		東山老人福祉センター同好会発表会・作品展での発表	1	東山老人福祉センター								0	清水児童館	今年度は「東山お楽しみ上映会を通しての交流となる。
		東山お楽しみ上映会を観に行こう！	1	東山老人福祉センター			11	6				17	清水児童館	・老人福祉センターと共催での多世代交流会は日程調整がつかず、共催で視聴覚センターの教材リストから老センと連携して選定し、多世代で映画鑑賞を実施。 ・老センの会場に挨拶をして入り、お年寄りの方から子ども達に優しく声掛けをしていただいたり、席を準備してくださるなどの場面もあった。特に、プログラムの中でレクリエーション的な物があるわけではなかったが、多世代で同じ空間で同じ映画作品を鑑賞し、こどもたちは、日頃と違う雰囲気の中であつたが、落ち着いて鑑賞することができた。 ・次年度は、映画鑑賞ではなく余裕をもって日程調整ができるように連携して多世代交流会（文化祭）でのステージ発表に参加できるよう準備していきたい。
		東山ふれあいリレーマラソン	1	東山玖はぐくみネットワーク実行委員会									東山区内の地域女性会、少年補導委員、民生児童委員、京都市行政、他各種団体、清水児童館	東山泉小学校で開催される。集合するも、天候の関係で中止。
		Let's子ども百鬼夜行	1	清水児童館	1	8	15	1	3		7	35	開晴小中学校、	・子ども実行委員会のメンバーが企画や進行を担い、百鬼夜行に因んだ室内ゲームや取り組みを展開した後、妖怪などの衣装を身に着けて地域をパレードをして開晴小中学校六原学舎の運動場まで行く。参加者の保護者等が、自主的に交通安全の見守りや遊びの見守りをしてくださった。また、地域の親子が衣装を身にまといとって少しの距離を同行される姿も見られた。
		左京東山児童館・学童保育所まつり	1	京都市児童館連盟									左京東山の児童館	・今年度は学童の子ども達を引率して実行委員、要員として関わりながら、児童館職員同士や協力団体の広く左京・東山区内の子ども達との交流が持てた。
		すくすくひろば前日準備	1	東山区地域子育て交流事業「すくすくひろば」実行委員会（東山区内の児童館・つどいの広場、東山区社会福祉協議会、東山区役所子どもはぐくみ室									東山区内の保育園（所）・認定こども園・幼稚園・東山区民生児童委員会、東山区町中図書館プロジェクト、京都洛東ロータリークラブ	東山区内の乳幼児向けの広場を、区内の関係機関が連携し、それぞれの機関が協力し合って実施することができた。いろいろな遊びのコーナーやステージを展開。「すくすくひろば」の参加者同士、参加者とスタッフ、スタッフ同士が、広場を通して交流できた。
		すくすくひろば	1		41						87	128		
		合 計	8	—	41	0	0	0	0	0	87	128		

地域福祉促進機能	基本活動進め	(2) ボランティア活動の推進	遊びのボランティア	2			2	・昨年度と引き続き、児童館利用者や元学童クラブの中高生が、自分たちの遊びたい時や先生と話したい時、小学生と一緒に遊びたいと思った時に来館し、自分も遊びに入りながら、良きリーダーとして活躍してくれ た。 ・今後は、児童館事業の中での活躍場面も検討していきたい。
			学習ボランティア	2			2	・大学生2名が、学習支援ボランティアとして登録し、子ども達の宿題をみてくれた。その後も一緒に遊び、子ども達との信頼関係も築くことができた。個別対応に必要な子たちへの関わりも上手に対応してもらっていた。次年度も引き続き登録してくれるとのこと。今後も、大学生の学習支援ボランティアに登録してくれる大学生となっていくくれるよう、遊びのボランティアの高校生がうまく引き継いでいくくれるよう期待して いる。
			合 計	4	0	0	4	
		(3) 地域との連携を促進する活動	連 携 団 体 等	連 携 内 容				成 果 と 課 題
			東山区子どもはぐくみ室	・児童館だより配布 ・情報誌「ふわりん」の記事掲載協力、ポスター作成、WEB情報提供、 ・4か月検診時待合室託児&東山の児童館PR ・0歳児教室の子育て講座の講師派遣：管理栄養士、保健師、歯科衛生士 ・「ふわりん横丁」交流会での児童館職員による手遊びやパネルシアター、活動紹介 ・東山区地域子育て交流事業「すくすくひろば」における東山区内の関係機関や団体への呼びかけ、協力依頼等				・児童館だよりの配布や情報誌の発行に向けての記事掲載協力、ポスター作成、東山区の子育て情報やWEB上での情報提供等は、連携の中で問題なく取り組めた。 ・連携事業については、「0歳児教室」で子どもはぐくみ室の管理栄養士や保健師、「乳幼児さんよっといデー」で歯科衛生士に講師になってもらう。専門家からの視点での指導を受けたり、育児の悩みに対応してもらうことができる貴重な機会であり、保護者も求めておられ、楽しみにもされていたが、その日の天候で参加に繋がらないことがあった。実施の季節を変えてみる等、参加の促進を検討する。 ・「すくすくひろば」においては、広く東山区内の乳幼児向けの広場を、共に各関係団体や機関の方々との連携、協力を得て開催することができた。
			東山図書館	・児童館だより配布 ・おたのしみ会参加(月1回) ・あかちゃんのおたのしみ会参加(月1回) ・子ども読書の日記念事業お楽しみ会の周知協力と参加、 ・0歳児教室子育て講座「赤ちゃんと絵本」の講師派遣等				・「あかちゃんのおたのしみ会」では、直接PRできる機会となり、児童館へも足を運ばれる機会に繋がっている。開催の際にはPRの機会として大事にしていきたい。 ・0歳児教室の子育て講座では、読み聞かせの実演や絵本の紹介、絵本の選ぶポイントなどの話と、赤ちゃんとのおふれあいのツールや言葉のシャワーの役目であること、読み方についてのきまりがあるわけではないことなど、子育てに関わる方々向けに話をさせていただく。 ・「おたのしみ会」や図書館の企画行事を色々と案内をしていただき、周知協力と共に、学童クラブの児童に呼びかけ参加に繋がったり、学童クラブの図書館行事への興味がある保護者にも声掛けをし、家族での参加に繋がった。 ・階下が図書館であるので、児童館や学童クラブでの図書館を利用する子ども達が多々いる。利用の仕方やマナーの面で子ども達に注意することもあった。常に情報を共有しながら、図書館と共に子ども達の豊かな感性の育ちに繋がるよう、読み聞かせや読書の機会を大切にしていきたい。
			六原・清水 学区自治連合会・民生児童委員	・児童館だより地域回覧依頼夏 ・まつり等の地域行事への要員参加をしゲームコーナー展開 ・六原フェスタ運営委員会 ・「すくすく広場」他、行事の中での民協さんとの連携				・地域主催のまつり等の実行委員会に参加し、共に準備をして繋がりを深めたり、その行事の参加者に向け、児童館のPRを行う機会となった。 ・今後も、地域の情報の共有や、行事の連携、児童館への支援をいただく関係を促進していきたい。
			東山老人福祉センター	・相互のたより交換、事業案内ポスター。呼びかけなど ・多世代交流事業参加⇒今年度は「東山お楽しみ上映会を観に行こう！」				・東山老人福祉センター主催の40周年記念を兼ねた同好会発表会・作品展の文化祭行事のステージ発表に参加。事前のリハーサルや本番を通して、日頃と違う環境の中で多世代の地域の方との交流ができた。地域の方には、小学生の得意技の色々な出し物が新鮮で、喜んでいただけ声援をおくっていただき、子ども達も達成感が見られた。また、フラダンス他、自分たちも真似て踊ってみる等楽しむ姿が見られた。 ・多世代交流の行事として、今後も相互に有効な取組を企画していきたい。
			東山消防署	・防災訓練協力依頼 ・乳幼児親子防災講座&避難訓練と消防車見学				・月1回の防災訓練のうち、年3回は協力依頼して評価を頂いている。 ・乳幼児親子へ防災啓発活動としての親子防災講座・消防車見学は人気がある。

地域福祉促進機能	基本活動	(3) 地域との連携を促進する活動	三条保育所	・相互のたよりの交換、取組のPR協力	・広報誌の交換を行い、相互の事業についての情報交換が行えた。今後も、より良い支援者支援の保育所との連携の仕方を検討していきたい。
			善立寺保育園	・児童館だより配布 ・「おでかけぼっぼ」で保育園の園庭に「移動児童館」として出向き、地域親子の遊び場提供	・「おでかけぼっぼ」では、例年近隣の保育園2か園と連携して「移動児童館」として実施しているが、参加者は少ない。 ・当館への参加者も少なく、参加への呼びかけも難しかった。次年度も、相互の事業の効果的な周知や互いの機能を尊重しながら連携の在り方や展開の仕方を検討していきたい。
			しんかくじこども園	・児童館だより配布 ・「おでかけぼっぼ」で保育園の園庭に「移動児童館」として出向き、地域親子の遊び場提供	
			つどいの広場（どんぐり広場）	児童館だより配布 「とび出せ!!どんぐり広場」の活動への参加呼びかけや周知協力、活動への児童館職員の参加 乳幼児さんよっといデー「ちびっこハロウィン」の共催、「どんぐりコンサート」 「どんぐり広場（小学生）」での小学生との関わり（毎月1度）	・開催日に出向き、児童館のPRをする。また、地域の子育てサークルと連携しての取り組みとされているので、サークルとの繋がりや情報交換の場としても良い機会となった。 ・今年度も「ちびっこハロウィン」を実施し室内でハロウィン向けの絵本や楽しい歌遊びなどをした。「子どもはぐくみ室」まで庁舎内をミニパレードした。連携をしたことで、楽しい遊びの提供やパレードの安全確保に繋がった。 ・今までの積み重ねてきた連携から発展した「どんぐり広場（小学生）」の交流事業を目的とした事業は、感染防止のために事業の休止をされることもあったが、子ども達にとって、季節に因んだ工作の取組等、楽しいひと時となっているが、どんぐり広場さんの都合で年度途中で、この企画行事は打ち止めになるとのことで、残念ながら小学生のこの活動は最終回後は開催されなくなる。 ・子ども達の遊びの見守り等もしていただく中で、小学生と顔見知りにもなり多世代の方と交流する場にもなっていた。
			開晴小中学校	児童館だより配布、学童児童・中学生への支援に関する情報共有等 生き方探究活き活きチャレンジ体験	・東山開晴館小中学校とは、常に連携は図っている。要支援児童、家庭についての相談は、必要に応じて進めることができている。

	A	B	C	D	E	G	H	I	J	K	L	M
1												<様式10-4>
2				令和6（2024）年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 （ 京都市清水 ） 児 童 館								
3												
4	地 域 基 本 社 会 活 動 促 進 機 能			組織名称	構成団体・個人	会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題				
5												
6												
7												
8												
			(4)児童館を支える地域 組織作り	開晴小学校区ステーションネットワーク会議	清水児童館、新道児童館、今熊野児童館、三条保育所、小松谷ありんこ広場、はぐくみ室、しんかくじこども園、善立寺保育園、小松谷保育園、光保育園、華頂短期大学付属幼稚園	①6月5日 ②2月20日	・各機関の情報交換、情報共有 ・東山区地域子育て交流事業について	・関係機関が連携して実施することができ、次年度以降も続けていけるよう取り組む。支援者同士の顔が繋がり、また、乳幼児親子にも好評				
				東山区地域子育て交流事業「すくすくひろば」実行委員会	主催：児童館、つどいの広場、社会福祉協議会、はぐくみ室 協力：保育園（所）認定こども園、幼稚園、民生児童委員会、まちじゅう図書館プロジェクト	①7月3日 ②9月26日 ③1月23日	東山区地域子育て交流事業の開催に向けて協議					
9												
10												
11						東山区地域子育て支援ステーション研修	東山区域児童館、保育園、こども園、民生児童委員、はぐくみ室	①1月21日 ②2月20日	①「絵本でつなぐ子育て支援」 ②東山区子育て講演会「子育て」を「孤育て」にしないための地域づくり	地域の子育て支援関係者が繋がり、学びを深める機会となった。		
12												
13												
14												
				東山区はぐくみネットワーク実行委員会	ボーイスカウト連盟、民協、社協、保護司会、少年補導委員、児童館、区役所、市教委等	①6月22日 ②7月27日 ③8月24日 ④9月29日 ⑤10月26日 ⑥12月1日 ⑦2月21日 ⑧5月17日	①今年度の取り組みと役員顔合わせ ②東山区民ふれあいひろば、東山ふれあいリレーマラソン、敬老メッセージ ③同上 ④研修会「薬物依存について」 ⑤東山リレーマラソン、ふれあいひろば進捗状況確認 ⑥東山リレーマラソンの前日準備 ⑦情報交換と活動の振り返り ⑧今年度の総括と来年度の方向性	・東山区全体を対象に各団体が参加し、行事や研修を通して子どもの健全育成について考える場であり、繋がることのできている。 ・実行委員会に参加することで、地域の皆様と顔が繋がり、健全育成に対する声を直接聞くことができるのは、大きな成果である。				
15												
				東山区地域福祉推進委員会	東山区民生児童委員会、主任児童委員、老人福祉員、東山医師会、東山区社会福祉協議会、当事者組織、福祉施設、行政機関	①7月8日 ②12月17日	令和4年度報告、令和5年度取組	・地域の福祉課題について関係機関と繋がることができ、視野が広がった。				
16				ひがしやま子どもあきまつり事前説明会・交流会	主催：東山区社会福祉協議会、子育てコミュニティベースひなたぼっこIN東山、東山まちじゅう図書館プロジェクト	10月3日	東山区内で取組んでいる子育て支援や子どもの居場所の取組について多くの世帯に知ってもらう機会として実施。イベントを通して団体同士のつながりをつくり、ともに考えるきっかけの場となることを目指す。	・気軽に参加できる雰囲気の中、親子と支援者、親子同士、支援者同士が話せる場となった。				
17				東山区社会福祉大会	主催：東山区地域福祉推進委員会 参加対象：学区社会福祉協議会・区民生児童委員会・老人福祉委員・区共同募金会・社会福祉施設・社会福祉関係団体・機関・ボランティア・NPO団体・行政機関の関係者	11月8日	「学区社会福祉協議会活動を振り返る」	・児童福祉だけでなく地域の福祉課題を共有することで、子どもの育つ地域への理解を深めることができた。				
18												
19												
20	推 進 活 動			会場提供・備品貸出等	使 用 目 的	提供先（団体・機関等）	成果と課題					
21												
				(5) 地域への施設提供 遊戯室	交通安全啓発事業及び防犯教室	東山警察署	・東山警察署主催の交通安全啓発のための取組を夏休みに遊戯室で開催した。児童館や児童の住まいが交通量の多い街中にあるので、児童がルールや自身を守るためにするべきことを学ぶ機会として定期的に開催していきたい。					
22												

[illegible]

	A	B	C	D	E	F	G
1							＜様式10－5＞
2		令和6（2024）年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 （京都市清水）児 童 館					
3							
4		広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
5							
6	広報活動	児童館だより	月1回	清水学区自治会連合会、清水学区自治連合会、清水民生児童委員会、六原自治連合会、六原自治連合会、六原民生児童委員会、来館者・学童クラブ児童保護者	地域回覧・配布・「京都の児童館」のホームページの中での、インターネットでの広報	予定・お知らせ・取り組みの様子	・今年度は特に、写真掲載について参加に繋がるように、楽しい雰囲気が伝わる者や、参加者で賑わっているような写真を選ぶように心掛けた。 ・写真掲載については、今年度も掲載に当たる許可を事前に書面できとり、掲載時には個々の承諾の範囲内で掲載ができるように配慮した。
7				東山総合庁舎南館掲示板、東山総合庁舎外掲示板、当館廊下掲示板、当館室内遊戯室掲示板、東山子どもはぐくみ室、東山老人福祉センター、東山図書館、市社協館長会、第3ブロック施設長会、どんぐり広場（つどいの広場）、善立寺保育園、しんかくじこども園、三条保育所、東山いきいき市民活動センター、東山青少年活動センター、東山ファミリーホーム、東山区社協、清水郵便局、ハッピー六原掲示板	掲示、窓置き		
8		行事のミニビラ・申込用紙	随時	児童と保護者 参加者や登録制の活動の申し込み希望者	利用者に配布	行事内容（日程・時間・企画）	・活動のお知らせポスターや、チラシの発行はタイミングよく作り周知した。今後も、余裕を持った準備と配布に心がける。
9		館外活動参加申込み用紙	年4回程度	児童と保護者 参加者や登録制の活動の申し込み希望者	利用者に配布	行事内容（日程・時間・企画）	
10		動	行事PR看板・ポスター等	随時	地域全域・庁舎利用者 児童館利用者	設置・掲示	各行事の詳細を記載したポスターやチラシの作成配布ホームページへの掲載。
11							